モニタリングサイト1000　里地調査　◆

平岡どんぐりの森は、環境省のプロジェクト『モニタリングサイト 1000 里地調査』の一環として、カエル類（平岡公園）と鳥類（東部緑地）の調査に参加しています。

◎エゾアカガエル　調査日 4/12　4/20　5/8　5/18（平岡公園）

エゾアカガエルは、年 1 回の産卵期に産卵可能なサイズの全てのメスが 1匹あたり1つの卵塊を産卵します。卵塊の数を数えることで、その地域に生息するカエルの個体数を把握できます。

今年は記録的な大雪となって 4 月になっても気温が低く、産卵はいつ頃になるのか心配しましたが 4/20 にはエゾアカガエルの大合唱！人工湿地のあちこちで産卵が始まっていました。ただ毎年産卵を確認していた上流湿地のA地区、B地区で卵塊を確認できなかったことはとても気がかりです。

◎鳥類（繁殖期）　調査日　5/29　6/12　6/28　（東部緑地）

東部緑地の大曲川沿いの遊歩道約1㎞を歩きながら半径 50m以内で確認された鳥類の種名・個体数を記録します。繁殖期の調査は森が新緑の季節を迎え緑が濃くなるシーズンです。**ウグイス**や**キビタキ**、**オオルリ**のさえずりを聞き、ほっと嬉しく感じながら調査を行いました。5/29 には**オオジシギ**の飛翔ディスプレイを何度も確認。6/12 は**エゾハルゼミ**が鳴き始め、子育て中の**アカゲラ**が巣穴からひょっこり顔を出し、餌を取りに行くところを目撃。6/28 には巣の近くに**ヒヨドリ**の幼鳥 3 羽を確認しました。

◆　小学校総合学習に協力　◆

◎清田緑地の良いところを探そう！（清田小学校）

山あり谷あり沢ありと、広くはないけれど多彩な自然環境が身近に見られる清田緑地です。3年生の子どもたちはそれぞれ『**ヤチダモ**』『**オオウバユリ**』など自分の観察テーマを決めて、6 月・8 月・11 月と3回の観察会での様子をメモやスケッチで記録していました。**アサダ**の葉の手触りを確かめたり、**オオウバユリ**のタネを吹き散らしてみたり、倒木の年輪を数えたり、自分の目や手で確かめたことは忘れないですね！冬はスノーシューで歩く予定です。

◎平岡公園たんけん　（平岡南小学校）

初夏と秋の2回、平岡公園の樹木や草花、虫などを観察しました。**ツタウルシ**や**スズメバチ**に気を付けようとの注意を聞いてから、自然観察指導員・ゆうさんを先頭に林の中や湿地を歩きました。

＊感想文から＊　子どもたちの印象に残ったものは？

ヤマブドウ・ルリミノウシコロシ・ヌルデ・オオバボダイジュ・キタコブシ・カナヘビ・フクドジョウ・オオルリボシヤンマ・ヒラタデムシ・イトトンボ・アキアカネ、まだまだ「いっぱいあって、言えないぐらい」でした。

園内の「**湧き水**」が豊平川や石狩川などを通って最後は日本海まで行く、と云うゆうさんの話に驚きの声が上がっていました。

◆アオサギ観察会◆

アオサギのコロニー

残雪が多い今年の春でしたが、**アオサギ**は例年通り3月上旬には平岡イオンSC裏の森に姿を見せ始めました。コロニー（集団営巣地）での子育てシーズンの始まりです。今年は5月と6月に平岡高校屋上でアオサギ・コロニーの観察会をおこない、双眼鏡で見える範囲で営巣数を確認し、幼鳥の成長の様子を見ました。

住宅地の中にぽつんと残された緑地に毎年春になると飛来して、忙しく子育てに励み、秋には南に去っていくアオサギ達です。街の中の貴重な営巣地を、今後も見守っていきたいと思います。

5月末の北海道アオサギ研究会・松長克利さんの講演会と江別コロニーの観察会には20名以上の参加があり、**アオサギ**の親鳥がヒナに餌を与える様子や若鳥の飛行訓練を間近に見ることができました。

平岡公園・チョウと虫の観察会

清田区民ボランティア出前講座・講師　問田高宏

私は、南区の澄川６条11丁目に住んでいます。

この市街地にも、モンシロチョウ、エゾシロチョウ、などが飛んできます。以前にはオオモンシロチョウが飛来していましたが、最近は少ないのか見られなくなり、変わってヒメアカタテハ、アカタテハなど従来見られなかったチョウが見られるようになりました。気候変動の影響かどうかは分かりませんが、長い間には少しずつ変化しているのでしょう。

また自宅の菜園には夏の間には小さい甲虫例えばホソトラカミキリ、テントウムシ類、ハチではマルハナバチ類をはじめいろんなハチ、さらにそれらを捕食するムシヒキアブが飛来し、クロヤマアリなどもいて小さな捕食，被食の関係も見られます。近くにはかなり豊かな生物相が保存されている西岡水源池などもあり、結構自然を気軽に楽しめるところに住んでいる事になります。

平岡公園の観察会については、酪農学園の金子教授のご紹介を縁に参加させていただいております。

この公園は山あり、谷あり、湿地ありで、なかなか自然豊かに保全されています。特に、ミドリシジミ、ウラナミアカシジミなどがいるコナラやハンノキ類の自然林が保全されていること、人工湿地帯が素晴らしく、マユタテアカネや希少種ナツアカネなどが定着していること、コオロギ類、キリギリス類、バッタ類がそれぞれ豊富にいる自然的な草地があることなど、自然公園の設計・造成の上でも随分工夫がされていると感心しています。　ですから、観察会に行くたびに、知らない、出会ったことのない、ちょっと珍しい虫に会えることも私の楽しみになっております。

一緒に仕事をしている清田区の担当者などの方たちと、どんぐりの森の方たち、日本野鳥の会の方々はそれぞれに穏やかで豊かな感性を持たれていて、毎回楽しく終えることができました。

もちろん、観察会に参加いただいている子供さんやお父さん、お母さんがたとも毎回自然の素晴らしさ楽しさをともに体験できることを嬉しく思います。わたしは、皆さんから尋ねられたことの全てにきちんと答えることができないで、赤くなったり、うろたえたりすることが多いのですが、これからも、精一杯つとめたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。　**（写真：三浦さち子）**

ミカドフキバッタ

エゾゼミ（ぬけ殻）

コヒョウモン

ニホンカワトンボ

アカハナカミキリ

冬の予定

1月18日（土）　冬の平岡公園にぎわいフェスタ　　午後１時　管理事務所前集合

2月15日（土）　ながぐつの土曜日　『雪の森たんけんたい』

2月19日（水）　ツリーウオッチング　『スノーシューで森を散歩』

発行　**平岡どんぐりの森**　（代表　荒井美和子）

〒004-0033　札幌市厚別区上野幌３条５丁目12－８

TEL. FAX　011－896－0058

ホームページ　http://dongurinomori.web.fc2.com/　も　ご覧ください。